

《小諸市》 小諸市ボランティアセンター

〔センターの基本事項〕

所在地	〒384-0017 小諸市三和1-2-9		
電話 F A X	0267-26-0315	0267-26-0315	
電子メール	borasen@ctknet.ne.jp		
H P ア ド レ ス	http://members.ctknet.ne.jp/borasen/		
職員数	正規	—	嘱託 2名
	臨時	—	その他 1名 (水夜間)
開所日と時間	月曜～金曜9:00～17:00 水曜のみ9:00～21:00 第2・4土曜10:00～17:00 (年末年始、祝日休館)		
情報誌	ボランティアこもろ 年6回 (隔月1回) 発行		
来所者数	年間 4,152名		



〔センターの運営方針・指針等〕

小諸市ボランティアセンターは、地域での人づくりを行うとともに、ボランティア団体、市民活動団体の横のつながりを作り地域へつなぎ、暮らしやすい地域としていくため、課題解決に向けた地域づくりを推進していく。

〔センターの拠点整備〕

活動場所の提供	<input type="radio"/>	無料、対象者：ボランティアセンター登録団体・個人
フリースペースの設置	<input type="radio"/>	机、イス、お茶、菓子、各種情報誌、新聞、コピー機、関連書籍、ボランティア団体・個人の作品 (販売有)、ボランティア団体連絡用レターボックス、暖房、扇風機
資機材等の貸出	<input type="radio"/>	コピー機 (1枚10円)、印刷機 (用紙持ち込み、製版1枚50円、印刷100枚ごとに100円) PC (無料、プリンター1枚10円)、CDラジカセ (無料)
福祉体験器具等の貸出	<input type="radio"/>	高齢者疑似体験セット (うらしま太郎、つくし君) 無料、対象者：近隣の学校・社協・地域住民等
登録グループの専用ポストの設置	<input type="radio"/>	
情報掲示板・チラシ提供スペースの設置	<input type="radio"/>	

〔ボランティアセンター運営委員会〕

組織の有無	有	規約	有
名称	小諸市ボランティアセンター運営委員会		
委員構成	委員は15名以内で現在10名。 (1)分野ごとのボランティア・市民活動実践者、(2)ボランティア・市民活動団体から選出された社協理事、(3)小諸市社会福祉協議会関係者、(4)行政関係者、(5)その他		
事業への関わり	ボランティアセンター活性化のための行事等の企画提案。 事業についての意見、承認。運営等についての行政、社協への要望。		
工夫点	ボランティア、地域活動者の代表である運営委員の意見を大事にしなが、より良いボランティアセンターへしていくために運営委員も職員も考え、信頼関係を築いている。		
課題点	一期2年の改選で再任はできるが、新しい委員のなり手を探すのに苦労する。 運営委員が中心となって行っていく事業の必要性。		

〔ボランティア連絡協議会〕

組織の有無	無	規約	無
名称	—		
協議会構成	—		
工夫点	—		
課題点	—		

〔財源〕

人件費	独自財源	共同募金	委託料・補助金	民間助成金	その他
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			市から委託金		

事業費	独自財源	共同募金	委託料・補助金	民間助成金	その他
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			行政委託料 (市民課ふれあい交流係)		
					雑収入 (印刷代、しおり売上金等)

〔業務及び事業について〕

ボランティア活動支援

相談・コーディネート	<input type="radio"/>	独・共・委・他
ボランティア保険加入事務	<input type="radio"/>	独・共・委・他
ボランティア・NPOへの助成	—	—
各種情報提供	<input type="radio"/>	独・共・委・他

広報・啓発

ボランティア広報誌・情報誌の発行	<input type="radio"/>	独・共・委・他
ホームページの運営	<input type="radio"/>	独・共・委・他

相互交流・ネットワークづくり

ボランティアの集い	<input type="radio"/>	独・共・委・他
・ボランティアセンター利用者の集い 年一回、登録団体・個人を対象にした活動紹介を兼ねた交流会 ・小諸市NPO・ボランティア交流会（ボラフェスタ） 年一回、ボランティア・NPO活動をしている方を対象に開催。行政（市民課ふれあい交流係）との共催 ボランティア活動団体・個人等による実行委員会発足		
ふれあい祭り等の開催	<input type="radio"/>	独・共・委・他
・ふれあいまつり 社協主催で、障害者週間にあわせて年一回開催 ボランティア活動団体・個人等による実行委員会発足		

ボランティア講座

未経験者向け	<input type="radio"/>	独・共・委・他
・ボランティアのいろは 2ヶ月に一回、ボランティアを始めたい人を対象に、ボランティア活動における心がまえやボランティア紹介、ボランティア活動保険の案内などを行う。（ボランティアコーディネーター）		
活動者向け	<input type="radio"/>	独・共・委・他
・ボランティアセンター交流活動 年3回、ボランティア活動者等を対象に、ボランティアセンターを活動の拠点として利用してもらうことを目的に始めた。ボランティア基礎講座、傾聴ボランティア関連講座、自己啓発講座等講師を迎えての講座、学習会。（外部講師、ボランティア実践者、地域包括支援センター職員：社会福祉士・保健師）		

その他の事業

しゃべり場	独・共・委・他
テーマ別サロン。月一回、ひとつのテーマを決め、同じ興味を持つ人たちが語り合い、豆知識を伝え合う場	
古切手整理・古切手利用しおり作り	独・共・委・他
月一回、寄付いただいた古切手の整理を行う。 古切手を利用したしおり作り（販売用）を行う。	
小諸駅おそうじ隊	独・共・委・他
年一回、勤労者・地域住民を対象に小諸駅の清掃を行う。	
勤ボラ	独・共・委・他
企業が福祉施設の日よけのため、グリーンカーテンの植え付けを行うなど、企業が地域とつながるきっかけ作りをする。	

福祉教育・ボランティア学習

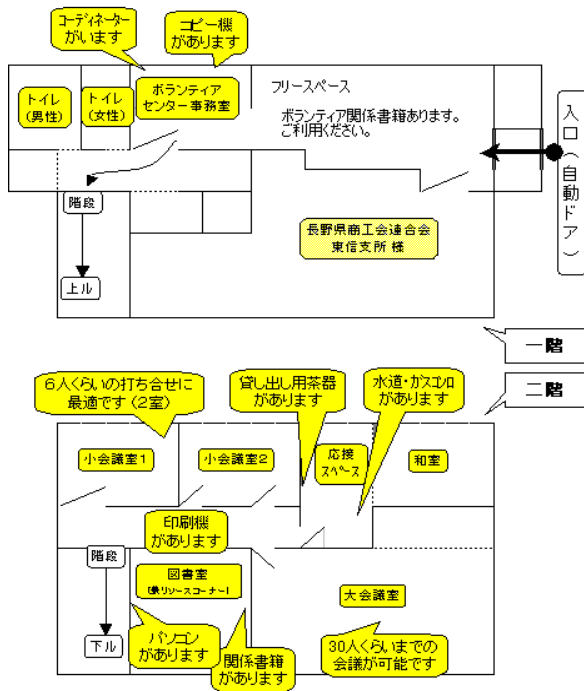
小中学生対象	<input type="radio"/>	独・共・委・他	
・学校からの依頼による福祉体験（車イス、アイマスク、高齢者疑似体験等）、福祉学習の指導 （社協職員：介護福祉士・ボランティアコーディネーター、地域包括支援センター職員：社会福祉士）			
高校生対象	<input type="radio"/>	独・共・委・他	
・高校生ボランティアワークキャンプ 市内在住及び市内の高校へ通学している高校生を対象に、基本的介護講習、高齢者疑似体験、福祉施設での現場体験等を実施 （社協職員：介護福祉士・ボランティアコーディネーター、施設職員）			
大学・短大・専門学校生対象	—	—	
—			
教員・学校関係者対象	<input type="radio"/>	独・共・委・他	
生徒に向けて福祉学習を行うための事前講習として実施 （社協職員：介護福祉士・ボランティアコーディネーター）			
一般対象	—	—	
—			
福祉教育協力校への助成事業	—	—	
総 額	—	1校あたり	—
小 学 校	—	中 学 校	—
高等 学 校	—	そ の 他	—

打ち水大作戦	独・共・委・他
地球環境を考え、用水路の水等を利用し打ち水を行い、気温を2℃下げることが目標に行う。地域住民、企業等へ啓発していく。	
おもちゃなおし隊	独・共・委・他
壊れたおもちゃを直し、使い捨てを見直す。団塊の世代へ向けた活動を提供。	
—	
—	
—	
—	

〔事業計画・センター運営等について〕

○事業計画について 毎年度の事業計画について、どのように計画を立案していますか？	担当部署・担当職員間で事業計画を立案している。
○センターにおける中長期計画について 独自の中長期計画・アクションプラン等を作成していますか？	理念等
○アドバイザー等について センターの運営や事業実施に関して、アドバイザー等の助言者はいますか？	—
○社協VC以外の中間支援機関について 社協が運営するVCとは別に、他団体が運営する中間支援機関が地域内にありますか？	—
○連携するNPOや関係機関について VCの事業・運営において連携・協働しているNPOや関係機関等はありませんか？	
連携・協働先	連携・協働内容
小諸市役所市民課ふれあい交流係	ボランティアセンター事業、ボランティア相談等全般
—	—
—	—
○センターの強みと弱みについて	
<p>《強み》</p> <p>行事やイベントなどが活発に開催されている。 運営委員が色々と相談に乗ってくれる。 行政の担当課と連携している。 広い分野のボランティアが登録している。 相談・依頼事は、何とでも解決・実現させるよう取り組んでいる。</p>	<p>《弱み》</p> <p>関係機関、地域住民とのつながりが弱い。 ボランティアをしている人と、興味のある人に対する発信に偏っている。もっと、身近な地域住民に働きかけていく必要がある。</p>

○VC見取り図



<p>○他市町村社協ボランティアセンターについて</p> <p>センター運営や事業実施に関して、他市町村社協VCに聞いてみたいことや知りたいことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が興味を持った行事、イベント、取り組んでいることはありますか。 ・おすすめの講師を教えてください。 ・社協の組織での立ち位置や、関係部署との連携について聞かせてください。

ボランティアセンターの重点事業について

事業名	テーマ別サロン「しゃべり場」
目的	ひとつのテーマをきっかけとして、地域住民が気軽に集まり語り合える場を提供することにより、同じ興味を持った人達がつながり、地域活動に発展していくような仕組みづくりを目的としている。
開催頻度	月一回
内容	講師を招いて話しを聞くという形のものではなく、設定したテーマに興味のある人達が集い、語り合い、情報交換をする。地域住民主体のサロン形式。 野菜の育て方（5月）、懐古園の魅力（6月）、野菜の育て方2（7月）、夏バテ解消料理（8月）、切手のあれこれ（9月）、おすすめの山登り（10月）、編み物（11月）、来年の野菜づくりに向けて土作り（12月）、しょうがを使った料理（1月）、手話ソング（2月）、環境にやさしいEM菌（3月）、デジカメ撮影の秘訣（4月）
対象者	市内に限らず、興味を持った方全て
企画のポイント 事業成果	ボランティア関係に限らない身近な内容のテーマを設定し、市外の方も参加している。ひとつのテーマに興味を持った人達が集まり、そこから次の活動へとつながるきっかけとする。また、テーマごとに集まった人達の把握をし、ボランティア依頼時等のための情報収集の場としている。テーマを決めての集まりは、目的がはっきりしているため多くの参加がある。
参加者の声や その後の動き など	色々な知識が得られて良かった。知らない情報を収集できた。 夏バテ解消料理への参加者は、そこへ来た別の参加者が関わっている料理教室へ参加している。

事業の様子



「野菜の育て方」について話そう



「手話ソング」に挑戦しよう

事業名	ボランティアセンター交流活動
目的	ボランティア活動者やボランティアに興味のある地域住民を対象に、ボランティアセンターを活動の拠点として利用してもらうことを目的としている。
開催頻度	年3回
内容	ボランティア基礎講座、傾聴ボランティア関連講座、自己啓発講座等 5月：「心をつなぐ処方箋」（人と接する時の自分の傾向について） 9月：「基本を知る！ボランティア活動宣言」（ボランティア活動の基本を確認して今後の活動につなげる） 3月：「地域で活動するための『心をほぐす処方箋』」（ストレスを抱えないような心の持ち方について）
対象者	市内に限らず、興味を持った方全て
企画のポイント 事業成果	当初、ボランティアセンターへ足を運ぶきっかけとしてもらうために始めた企画。毎回、市内外から多くの方に参加いただいている。これをきっかけに活動を始めた方や、グループに所属した方もいる。興味を惹く内容とタイトルを付けるのに知恵を絞っている。
参加者の声や その後の動き など	もっと深く知りたいと思った。有意義な話しを聞いてよかった。 参加者の中からボランティア登録へとつながっている。

事業の様子



「心をつなぐ処方箋」



「基本を知る！ボランティア活動宣言」